

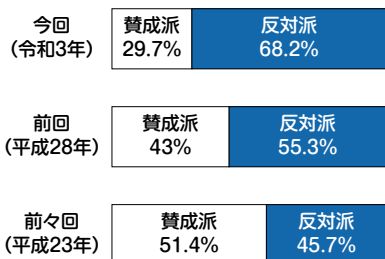
私らしくあなたらしく

先日、私は市のホームページで、「筑紫野市男女共同参画市民意識調査報告書」を見ました。



この調査の中には、「『男は仕事、女は家庭を守るべき』という考え方に同感するか?」という質問項目があり、若い年代を中心に反対派の人が調査のたびに増加していることが分かりました。

【問い】
「男は仕事、女は家庭を守るべき」という考え方に同感するか?



私は、その理由を筑紫野市にたずねてみました。



すると、担当の方から次の答えが返ってきました。

理由の一つとして考えられるのが『教育』です。性別によって役割を決められるおかしさや、協力することの大切さを学校で学習することが、今回の調査結果につながっていると思います。



この説明を聞きながら、私は、自分の子どもが楽しそうに皿洗いをする姿を思い出しました。



そして、学びが行動につながっていることを理解しました。

一方で私は、自分が子どもだった頃を思い出しました。



「女の子だから家事はできたほうがいい」と私に言う母…寝転んでテレビを見ているだけの兄…

もし、あの頃から学習する機会があれば、私たちの考え方も変わっていたかもしれない。



それぞれの性別に関係なく活動を自由に選択できる社会は、誰もが自分らしく生きることのできる社会だと思います。

私はそんな社会の実現のために、まず家庭を見つめ行動に移していきたいと考えています。

